

令和2年度大雪山国立公園入山者数の推計結果(登山者カウンター等カウント値結果)

- 対象とする登山口
令和2年度は、下表の登山口を対象とした。位置図は別紙のとおり。なお、現時点では利用者が少なく、登山者カウンターを設置して人数を計測しても、全体数の誤算の範囲に含まれてしまうと考えられる登山口は対象にしない。
- 結果の概要
①月別の入山者数は、最も多い月が9月、その次が7月であると考えられる。
②入山者が多い上位3登山口は、黒岳登山口、姿見の池(旭岳方面)、十勝岳温泉(安政火口)である。
なお、熱感知式カウンターの精度検証の結果から入山者数の実数はカウント値よりも一定程度少ないと考える必要がある。令和2年度6月～10月期の大雪山国立公園の年間のカウント数を単純に合計した値について、これまでに実施した精度検証の結果から、仮に誤差が約110%～148%と仮定すると、大雪山国立公園全体の入山者数は約7～10万人程度の間にあると考えられる。

登山口	年間	6月	7月	8月	9月	10月	推計方法	カウンター設置期間
1 黒岳登山口	約22000程度	約100程度	約5400程度	約5600程度	約8700程度	約2300程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月23日～10月12日
2 銀泉台登山口(第一花園下)	約7900程度	約200程度	約2800程度	約1300程度	約3600程度	-	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月22日～9月28日
3 高温温泉登山口(緑岳コース)	約3700程度	約200程度	約1400程度	約900程度	約1200程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月18日～10月7日
4 高温温泉登山口(沼めぐり登山コース)	約3900程度	約100程度	約300程度	約400程度	約2100程度	約900程度	ヒグマ情報センター利用者数資料	
5 クチャンベツ登山口	約3200程度	約0～50程度	約1200程度	約1100程度	約700程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年7月3日～10月7日
6 松山園登山口	約1000程度	-	約200程度	約200程度	約600程度	-	人感センサー式カメラからの推計	令和2年7月14日～9月30日
7 愛山溪温泉登山口	約2000程度	約0～50程度	約500程度	約400程度	約1000程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月26日～10月9日
8 姿見の池(裾合平方面)	約6600程度	約200程度	約2800程度	約900程度	約2300程度	約400程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月19日～10月9日
9 姿見の池(旭岳方面)	約21000程度	約500程度	約6300程度	約5800程度	約7700程度	約700程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月19日～10月9日
10 美瑛富士登山口	約1200程度	約200程度	約300程度	約400程度	約300程度	約0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
11 天人峡登山口	約500程度	約0～50程度	約200程度	約100程度	約100程度	約40～60程度	人感センサー式カメラからの推計	令和2年6月19日～10月9日
12 十勝岳登山口(美瑛岳方面)	約2000程度	約200程度	約500程度	約400程度	約900程度	約0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
13 十勝岳登山口(十勝岳方面)	約8500程度	約1200程度	約2400程度	約2600程度	約2100程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
14 十勝岳温泉(安政火口)	約12000程度	約1100程度	約5200程度	約2900程度	約2800程度	約400程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
15 原始ヶ原登山口	約200程度	-	約100程度	約50～100程度	-	-	人感センサー式カメラからの推計	令和2年5月29日～10月8日
16 十勝岳新得側登山口	約100程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約50～100程度	国有林入林簿からの推計	
17 トムラウシ山(短縮コース)登山口	約2300程度	約0～50程度	約700程度	約900程度	約600程度	約50～100程度	赤外線式カウンターからの推計	令和2年5月28日～10月12日
18 トムラウシ山(温泉コース)登山口	約100程度	約0～50程度	約0～50程度	約40～60程度	約0～50程度	約0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	令和2年5月28日～10月12日
19 石狩岳登山口	約200程度	約0～50程度	約200程度	約40～60程度	約0～50程度	-	赤外線式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月18日
20 ユニ石狩岳登山口	約50～100程度	約0～50程度	-	-	約40～60程度	約0～50程度	国有林入林簿からの推計	
21 ニペソツ山(幌加温泉コース)登山口	約1100程度	約50～100程度	約400程度	約300程度	約300程度	約50～100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月14日
22 白雲山土幌側登山口	約700程度	約100程度	約100程度	約100程度	約100程度	約200程度	国有林入林簿からの推計	
23 白雲山鹿追側登山口	約2800程度	約300程度	約500程度	約600程度	約600程度	約800程度	国有林入林簿からの推計	
24 東ヌプカウンスブリ登山口	約1900程度	約200程度	約300程度	約400程度	約400程度	約600程度	国有林入林簿からの推計	
25 南ペトウトル山登山口	約300程度	約40～60程度	約0～50程度	約40～60程度	約50～100程度	約50～100程度	国有林入林簿からの推計	

●計測手法ごとに実数に対して多い又は少ない傾向にあるといった計測値の特性が異なること、同じ計測手法であっても熱感知式カウンターの場合は場所により誤差が異なることも考慮に入れて、次のように取り扱った。

①登山口ごとに、月別にカウントした生データの値を記入した。登山口ごとの年間合計と、月別の合計値は、これらの値を単純に足し合わせた値である。

②明らかなエラー値については、除去した。

③上記①で求められた値のそれぞれについて、次のように表記した。

・1000以上の数値については、有効数字を左2桁として、3桁目を四捨五入した。

・100～999の数値については、10の位を四捨五入した。

・0～39の数値については「約0～50程度」、40～60の数値については「約40～60程度」、61～99の数値については「約50～100程度」と表記した。

●上記の操作を行ったため、次の点に注意が必要である。

①登山口ごとの各月別のカウント値の合計と登山口ごとの年間のカウント値の合計は一致しない。②各月の登山口ごとの人数の合計と、各月の合計の人数は一致しない。

●登山者カウンターは、雪解け後、できる限り早い時期に設置しようとしているため、設置以前に入山した登山者は把握できない。積雪により登山者カウンターが回収することができない可能性があるため、回収を急いだ登山口については、撤去後の登山者は把握できない。

●参考

・銀泉台(第一花園上)でも計測をしており、その値は、年間約7,200程度、6月約100程度、7月3,000程度、8月約1,400程度、9月約2,700程度、10月約0～50程度であった。銀泉台(第一花園下)の計測値との差は、銀泉台(第一花園)のみを探索した人の数を意味する。

・姿見の池周回コースのみを散策した者の数は、この表には含まれていない。

・松仙園登山道が令和2年7月14日から同年9月30日まで開通、植生保護のため、登り一方通行の運用としており、同登山口から入山する登山者の把握を行った。

・クチャンベツ登山口に至る林道が平成28年7月31日の大雨で通行止めとなっていたが、復旧し、令和2年6月27日より通行可能となったため、同登山口から入山する登山者の把握を行った。

・ウペペサンケ登山口に至る林道が平成28年8月から通行止めのため、同登山口から入山する登山者は把握していない。

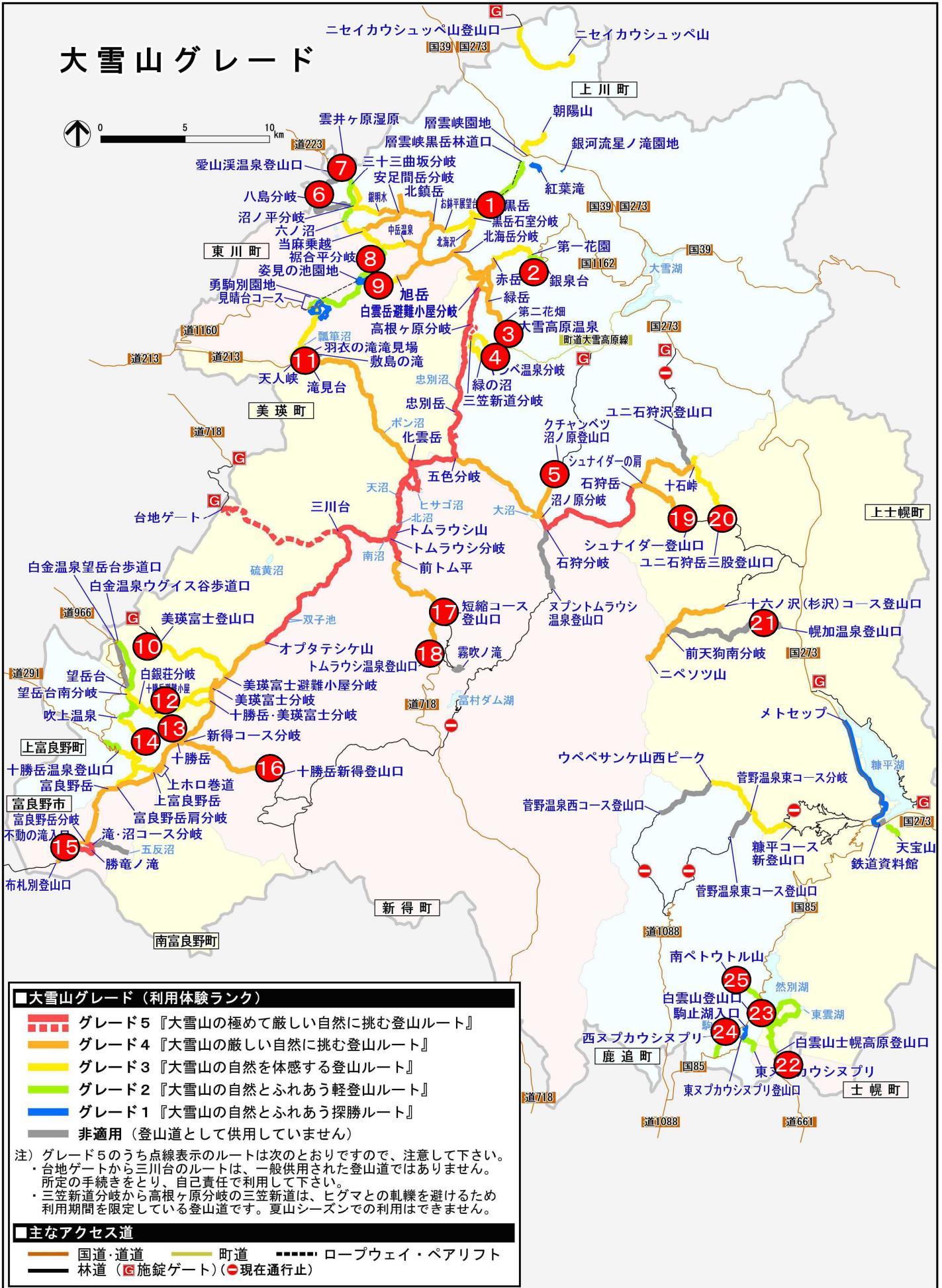
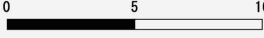
・雪解けの早い然別湖外輪山については3月から入山があり、国有林入林簿では、3～5月に、白雲山士幌側登山口が約300程度、白雲山鹿追側登山口が約200程度、南ベトウトル山が約0～50程度であった。

・原始ヶ原登山口はトレイルカメラとSDカードが故障のため、6/1～7/1、8/28～10/8までデータ欠損。

・石狩岳登山口は電圧低下のため、9/9以降データ欠損

令和2年度登山者カウンター設置等箇所 位置図

大雪山グレード



■大雪山グレード (利用体験ランク)

- グレード5 『大雪山の極めて厳しい自然に挑む登山ルート』
- グレード4 『大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート』
- グレード3 『大雪山の自然を体感する登山ルート』
- グレード2 『大雪山の自然とふれあう軽登山ルート』
- グレード1 『大雪山の自然とふれあう探勝ルート』
- 非適用 (登山道として供用していません)

注) グレード5のうち点線表示のルートは次のとおりですので、注意して下さい。
 ・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。
 所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
 ・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。

■主なアクセス道

- 国道・道道 — 町道 - - - - - ロープウェイ・ペアリフト
- 林道 (G施錠ゲート) (●現在通行止)

①	黒岳登山口	熱感知式カウンター
②	銀泉台登山口(第一花園上・下)	熱感知式カウンター
③	高原温泉(緑岳コース)登山口	熱感知式カウンター
④	高原温泉(沼巡りコース)登山口	ヒグマ情報センター利用者数資料
⑤	クチャンベツ登山口	熱感知式カウンター
⑥	松仙園登山口	人感センサー式カメラ
⑦	愛山溪温泉登山口	熱感知式カウンター
⑧	姿見の池(裾合平方面)	熱感知式カウンター
⑨	姿見の池(旭岳方面)	熱感知式カウンター
⑩	美瑛富士登山口	熱感知式カウンター
⑪	天人峡登山口	人感センサー式カメラ
⑫	十勝岳登山口(美瑛岳方面)	熱感知式カウンター
⑬	十勝岳登山口(十勝岳方面)	熱感知式カウンター
⑭	十勝岳温泉登山口	熱感知式カウンター
⑮	原始ヶ原登山口	人感センサー式カメラ
⑯	十勝岳新得側登山口	入林簿
⑰	トムラウシ山(短縮コース)登山口	赤外線式カウンター
⑱	トムラウシ山(温泉コース)登山口	赤外線式カウンター
⑲	石狩岳登山口	赤外線式カウンター
⑳	ユニ石狩岳登山口	入林簿
㉑	ニペソツ山(幌加温泉コース)登山口	熱感知式カウンター
㉒	白雲山土幌側登山口	入林簿
㉓	白雲山鹿追側登山口	入林簿
㉔	東ヌプカウシヌプリ登山口	入林簿
㉕	南ペトウトル山登山口	入林簿